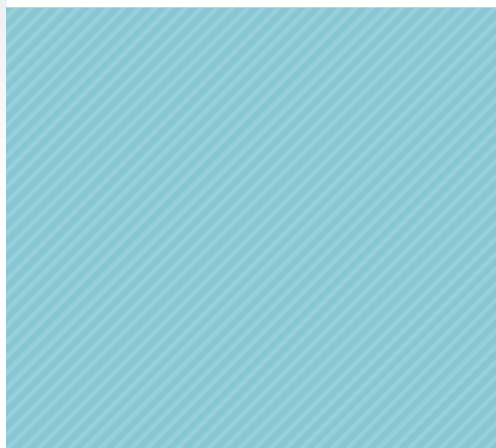


# 株主の皆さまへ

第176期 報告書 2023年1月1日～12月31日



## マネジメントメッセージ

株主の皆さまには日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年1月、当社は経営体制を一新し、代表取締役 取締役会長（CEO）に岸田裕之、  
社長執行役員（COO）に松本尚武が就任しました。

また、3月には松本が代表取締役に就任し、今後はこの新体制のもと、  
地域共創の実現を目指す「静岡ガスグループ 2030年ビジョン」の取り組みをグループの総力を挙げて推進し、  
持続的な成長と企業価値のさらなる拡大を追求してまいります。株主の皆さまにおかれましては、  
引き続き当社グループに対するご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役  
取締役会長（CEO）

きしだ ひるゆき  
岸田 裕之

代表取締役  
社長執行役員（COO）  
兼 経営戦略本部長

まつもと よしたけ  
松本 尚武

# 2030年ビジョンの具現化に向けた取り組みを加速し、 地域社会の発展と持続可能な社会の構築に貢献してまいります

代表取締役 社長執行役員(COO) 松本 尚武

**社長就任が決まったときの率直なお気持ちや、社長を引き受けようと思った理由をお聞かせください。**

社長就任の打診を受けたときは、まったく想定していなかったもので、びっくりしたというのが正直なところですが、これまでの会社員人生で上司や先輩方に育てていただいたという思いが強かったので、その恩返しをする良いチャンスだとも考えました。また何よりも、静岡ガスの企業理念でもある地域社会の発展にトップとして献身したいという気持ちが強く、就任を引き受けた次第です。岸田会長との強固なチームワークのもと、社外役員の皆さまなど様々な視点からの意見にも真摯に耳を傾けながら、経営に邁進していきたいと気を引き締めています。

**松本新社長がどんな方が関心を持たれている株主さまも多いと思います。静岡ガスに入社された動機やきっかけを教えてくださいませんか。**

私は大阪大学理学部で高分子化学を専攻しました。卒業後の進路として研究者の道も考えましたが、出身地である静岡に戻ることにしました。静岡ガスを選んだのは、地元の経済社会に貢献している公共性の高い企業であることに加え、その業態から、大学で学んだ高分子化学の

知識や知見を活かせるのではないかと考えたことが主な理由です。

**静岡ガスでの経歴を教えてください。また、特に印象に残っている仕事や転機となった出来事などがあれば併せてお聞かせください。**

入社後は、様々な部署で経験を積んだあと、家庭用営業を担当するくらし事業本部マーケット開発部長（当時）、電力事業を担当するエネルギー戦略部長（当時）を経て、2021年に執行役員に就任しました。2023年1月からは、常務執行役員 経営戦略本部長として、当社グループの中長期戦略の策定と実行に注力してきました。

若手時代から、多様な部門で仕事をさせてもらい、貴重な経験をすることができたので、印象に残った仕事をひとつに限定することはできません。ただ、10年ほど前にプロフェッショナルな専門職という立場から、マネージャーとして部下やスタッフと一緒に仕事をするようになった時がひとつの転機でした。管理職としてチーム運営に携わるようになったことで、組織やビジネスについてより大局的な見方ができるようになったと思います。

管理職として、あるいは執行役員として大切にしてください。こられた信条やモットーはどのようなものでしょうか。

ビジネスは人が動かすものです。企業や事業が成長していくためには、人材の育成や活躍支援、人材投資、組織開発といった人的資本の強化に向けた取り組みが欠かせません。社員一人ひとりの力をどのように引き出していくか、その力をどうやって結集し、組織力まで高めていくか、常にそのことを考えながら仕事をしてきました。今後は社長としてグループ全体の人的基盤の強化や組織力の向上に注力してまいります。



これまでの経験や立場を踏まえ、静岡ガスグループの特長や強みは何だとお考えでしょうか。

最大の強みは、110年以上の当社の歴史の中で培ってきた強固なお客さま基盤だと考えています。お客さまから寄せられる信頼こそ、当社グループの最大の財産であり、成長の源泉です。今後もお客さまとの緊密な関係を大切にしながら、安全・安心な地域社会の形成に寄与していく考えです。

当社の強みをもうひとつ挙げるとすれば、真面目で誠実な社員が多いことです。お客さまなどステークホルダーからもそのような評価をいただいておりますが、真面目であるがゆえに、やや保守的で現状に満足しやすい傾向があるのも事実です。当社グループはいま、外部環境の変化に即した事業ポートフォリオの確立に向けて、新たな成長事業の強化、確立に力を注いでいます。その担い手を多数輩出するためにも、社員の意識改革と挑戦を重んじる組織風土の醸成に積極的に取り組んでいくことが必要です。

静岡ガスグループの目指すべき姿や方向性について、どのような展望をお持ちでしょうか。

当社グループはいま「静岡ガスグループ 2030年ビジョン」の着実な進捗に経営資源を集中しています。2030年ビジョンでは、地域が保有する多彩なデータを結合した連携基盤のもと、地元企業や自治体、地域住民と協調し、独自の価値を共創していく新たな価値創造サイクルの確立を目指しています。当社グループはこの循環モデルの中核的な存在として、地域の皆さまが必要とする価値やサービスを創出し、安全・安心な地域社会の形成と地域の皆さまのQOL<sup>(※)</sup>の向上に取り組んでいきます。「地域No.1ソリューション企業グループ」の実現を2025年のマイル

(※)一人ひとりが自分らしい生活を送り、人生に幸福を感じているかという“生活の質”。

ストーンとして、持続可能なくらしやすい地域の実現に貢献する企業へと進化させてまいります。

**静岡ガスグループは現在、ポートフォリオ変革の取り組みに注力されています。目標とする事業構造についてご説明ください。**

2030年ビジョン具現化のためには、時代の変化を先取りした戦略的な事業ポートフォリオの構築が欠かせません。都市ガス事業が経常利益の約8割を占める事業構造を変革し、2030年には電力・再生可能エネルギー、くらしサービス/エンジニアリングサービス、海外などの成長事業が約5割を稼ぐ多角的な事業ポートフォリオを目指します。都市ガス事業においては、まだ成長の余地はあると考えており、さらなる投資で収益の安定化を図りつつ、新たな成長事業と位置付ける再生可能エネルギーや海外事業においては、人材や資金などの経営資源を重点配分し、業容の拡大を促進していく考えです。

**自然環境ならびに経済社会のサステナビリティへの貢献については、どのような取り組みを進めていますか。**

地球温暖化対策への社会的要請の高まりを受けて、2021年8月に「2050年カーボンニュートラルビジョン」を策定、環境・社会の持続可能性に係わる当社グループの中長期的な方向性と具体的な施策を打ち出しました。燃料転換等による天然ガスシフトやエネルギーの高度利用などによる低炭素化の取り組みを加速させるとともに、カーボンニュートラルガスの販売、再生可能エネルギー電源の開発、水素・アンモニア利用の拡大など、様々な取り組みを通じて、持続可能な地域社会の形成に寄与し、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

**静岡ガスグループがビジョンの実現に向けて継続的な成長を図っていく上で、特に対処が必要な課題がありましたらご教示ください。**

ビジョン達成に向けた取り組みはまだ始まったばかりであり、ダイバーシティの拡大、DXの取り組み、社員の活躍支援と組織風土改革、地元自治体・企業との連携強化、実効性ある投資の実行など、対処すべき課題はたくさんあります。私は社長執行役員として、お客さま、株主さま、お取引先、地域社会の皆さまなどステークホルダーの方々との絆をより深めつつ、健全かつ革新的な経営を通じて企業価値の最大化を追求していく決意です。特に最重要課題のひとつである人的基盤の強化については、教育研修を通じた多様な人材の育成と人員の適正配置にとどまらず、マネジメントと社員の直接対話と経営トップからの適切な情報発信により、社員のチャレンジ精神を喚起していく考えです。

**最後に株主の皆さまへのメッセージをお願いします。**

静岡ガスは1910年の創立以来、エネルギーの安定供給を通じて地域社会に貢献し、着実な成長を達成してきました。これはひとえに株主さまをはじめ、ステークホルダーの皆さまのご支援によるものと深く感謝しております。引き続き、当社グループの成長軌道を維持・拡大し、ビジョンの具現化に全力を傾注してまいります。

株主の皆さまに対しては、業績と株主資本配当率(DOE)に基づく安定した配当と、適切な将来投資による継続的な利益成長により、そのご期待に応えてまいります。なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

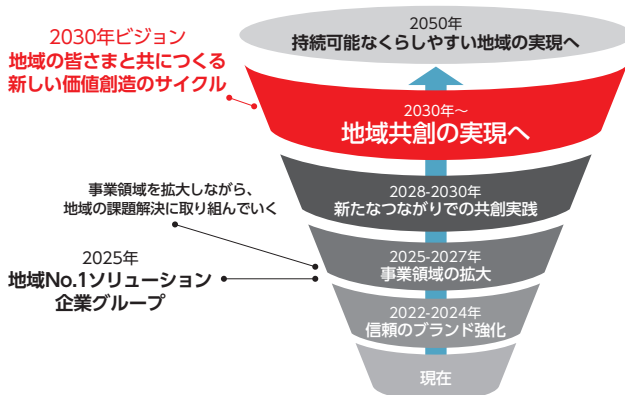
# 中期経営計画（2024年～2026年）

## 目指す姿

「信頼のブランド強化」から「事業領域の拡大」へ

本中期経営計画の3か年は、2030年ビジョンに掲げた「地域共創」の具現化に向け、「ホップ（助走）＝信頼のブランド強化」から「ステップ（踏み込む）＝事業領域の拡大」へと軸足を移す期間です。

基盤事業のさらなる高度化と効率化を進めるとともに、事業領域の拡大と成長を加速させていきます。



## 各事業の具体的な取り組み

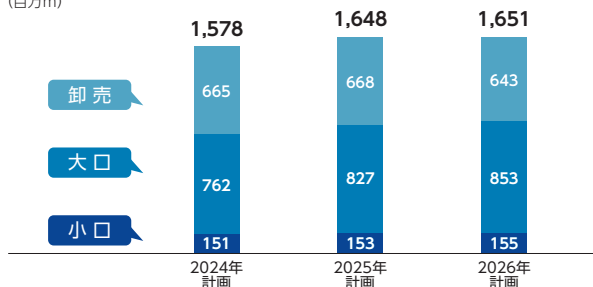
### 都市ガス事業

天然ガスの普及拡大・高度利用の推進によるCO<sub>2</sub>削減

- 産業用および業務用のお客さまの新規開拓に取り組みます。(3か年累計200百万m<sup>3</sup>超)
- コージェネによるエネルギーの高度利用を推進します。

都市ガス販売量計画(個別)

(百万m<sup>3</sup>)

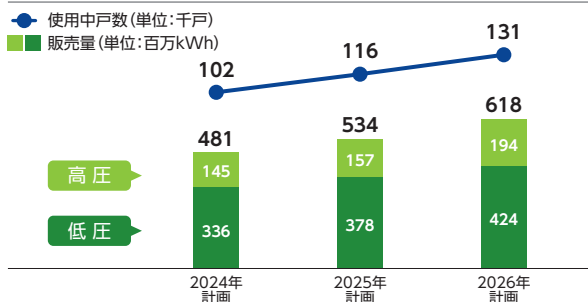


### 電力事業

お客さま基盤の拡大

- 新料金メニューやデマンドレスポンス、省エネ診断等を活用し、新たなお客さま層を獲得します。
- PVを絡めた蓄電池・EV関連サービスを開発・提供します。
- FIP<sup>(※)</sup>等由来の非化石価値を活用したCO<sub>2</sub>フリー電力の販売を進めます。

小売販売量・使用中戸数計画



(※)太陽光や風力などの再生可能エネルギーで発電した電気を売電した際に、売電収入に加えてプレミアム(補助金)を上乗せした金額が支払われる制度。

## 再生可能エネルギー事業

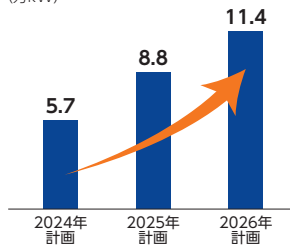
### 2030年末の再生可能エネルギー累計電源開発容量20万kW実現に向けて

- 太陽光発電では、FIP案件の開発や営農型PVの横展開を進めます。
- バイオマス発電は既存プロジェクト(\*)を着実に推進し、地域バイオマス等の新規プロジェクトにも取り組みます。

(※) 鳥海南バイオマスパワー(山形県)、田原バイオマス(愛知県)、遠州フォレストエナジー(静岡県)

再生可能エネルギー累計電源開発容量計画

(万kW)



営農型太陽光発電所

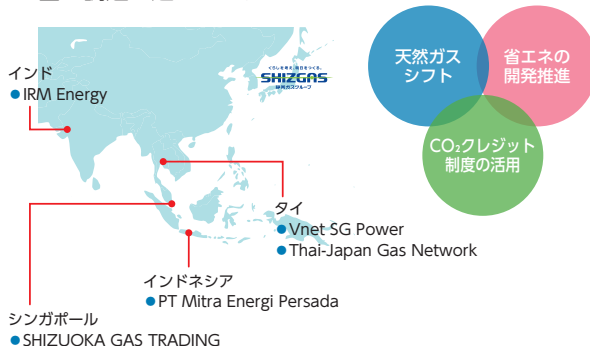
(袋井市)



## 海外事業

### 東南アジア、インドを中心とした事業展開の加速

- 低炭素化に貢献する天然ガス中下流事業への参画・開発を進めます。
- 国内でのこれまでのノウハウを活かし、再生可能エネルギー電源の開発を進めます。
- お客様のご要望を踏まえた、カーボンクレジット創出・調達を進めます。



## 投資計画

- 2024年から2026年までの3か年で総額約610億円を投資します。
- 基盤事業拡大のため営業投資(主にガス導管投資)を継続します。
- 再生可能エネルギー・海外等、成長事業への投資をさらに加速します。

13%  
基盤事業 営業投資

その他 5%



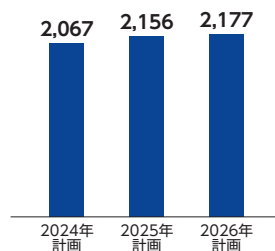
18%  
基盤事業  
基地・高圧幹線・  
既存パイプライン  
強化

64%  
成長事業  
再生可能エネルギー、  
海外等

## 売上高・経常利益計画

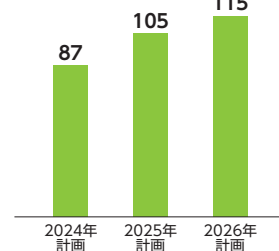
売上高

(億円)



経常利益

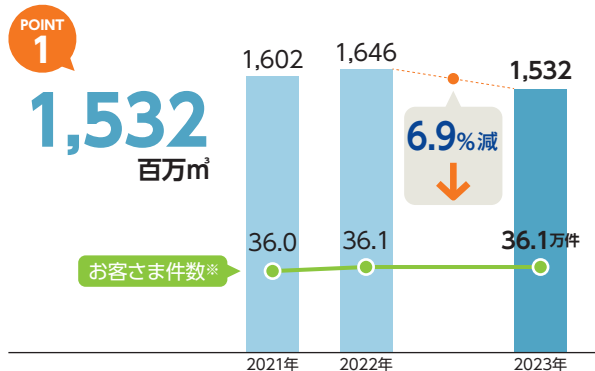
(億円)



		2024年計画	2025年計画	2026年計画
為替レート	(円/\$)	150.0	150.0	150.0
原油価格 CIF (JCC)	(\$/bbl)	85.0	85.0	85.0

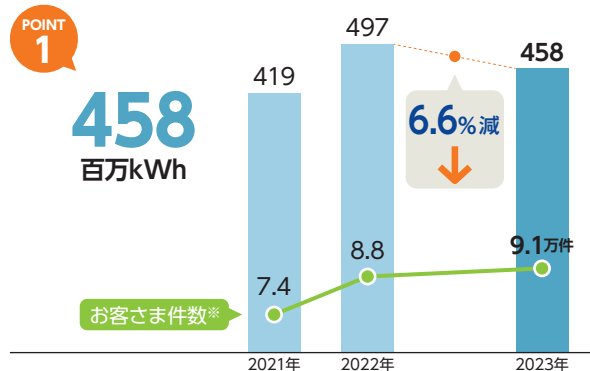
## 業績ハイライト

### ■ ガス販売量 (個別) (単位:百万m<sup>3</sup>(45MJ))



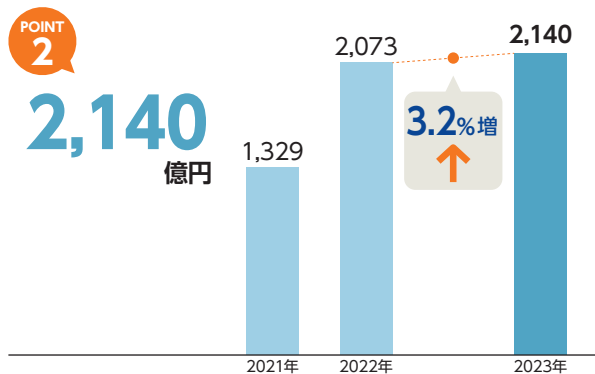
※お客さま件数は設備戸数(連結)。

### ■ 電力販売量 (卸売を除く) (単位:百万kWh)

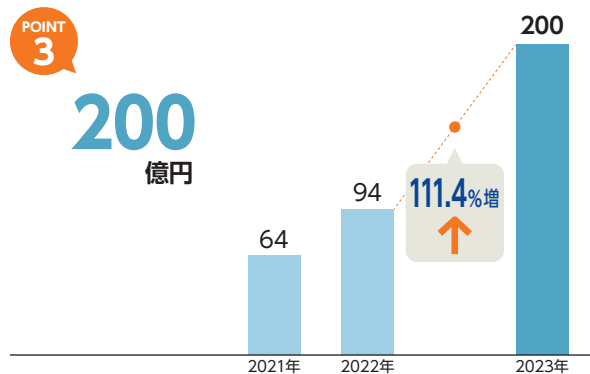


※お客さま件数は使用中戸数。

### ■ 売上高 (単位:億円)



### ■ 経常利益 (単位:億円)



### 株主の皆さまの声を ご紹介します。

前回アンケートでいただいたコメントを一部抜粋し掲載しております。ご協力ありがとうございました。

株価上昇、株主優待制度の維持をお願いします。静岡県の特産品・名産品に期待しています。

地元静岡の企業であることをもっとPRしてみてください。

エネルギー事業以外にも地域貢献活動を積極的に行い、地域からより愛される企業になってください。



## POINT

1

ガス販売量は、既存大口のお客さま設備の稼働減少の影響、気温が高めに推移したことや節約志向の高まり等により、前期を下回りました。

電力販売量は、お客さま数が前期末から増加したものの、節約志向の高まり等により、前期を下回りました。

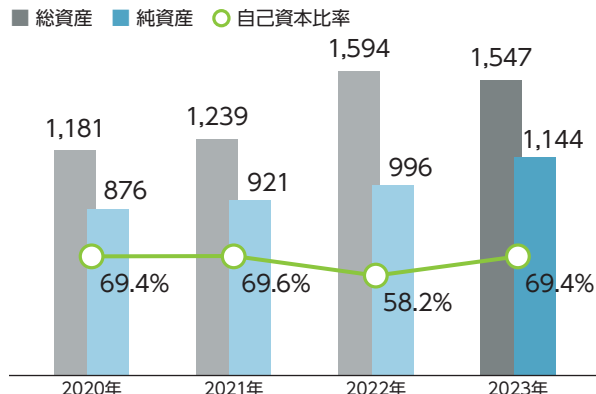
2

売上高は、ガス販売量は減少したものの、原料費調整制度によるガス販売単価の上方調整などにより、前期を上回りました。

3

経常利益は、原料価格の変動がガス販売単価に反映されるタイムラグの影響などにより、前期を上回りました。

## ■ 総資産・純資産 (単位:億円)



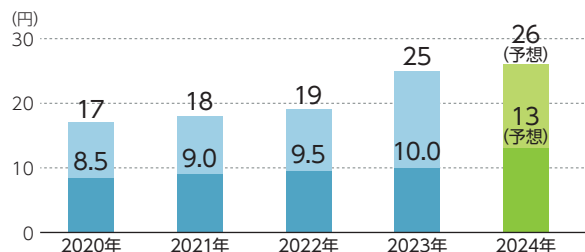
## ■ 配当金の推移

### 2023年度年間配当金

1株につき **25円**  
(中間10円+期末15円)

### 2024年度予想年間配当金

1株につき **26円**  
(中間13円+期末13円)



### 配当方針

業績、株主資本配当率(DOE)等を勘案し、安定的かつ継続的に株主さまへの還元を充実していきます。  
なお、配当性向に関しては、3割を目標水準といたします。



詳しい情報は静岡ガスのIRページへ

<https://ir.shizuokagas.co.jp/ja/ir/Top.html>

静岡ガス IR

検索

スマートフォンでもご覧いただけます➔



二酸化炭素排出減少に努める方針をもっと力強くアピールしてほしい。

東京での個人投資家向け会社説明会や事業見学会を実施してほしい。

高齢世帯ですのでエネルギーの「すぐ行くね」サービスはありがたいです。

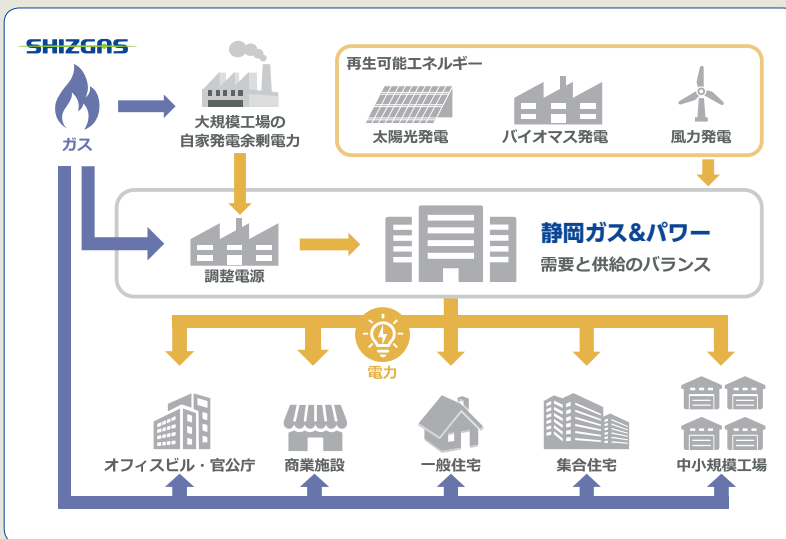
シズガスの森のような活動を広げてほしいと思います。

安定した企業内容で進めてほしい。

## 電力事業について

### 地域電力モデルのイメージ

地域の工場が自家発電して自ら消費できずに余った電力や、地域の太陽光発電などの再生可能エネルギーの電力を地域資源として調達し、静岡ガス&パワー富士発電所で需要に合わせて調整した電力を地元のお客さま向けに販売するモデルです。



## 静岡ガス&パワー富士発電所

### ガスエンジン発電設備の増設工事完了および稼働開始

当社グループ会社で電力事業を展開する静岡ガス&パワー(株)は、同社が運営する静岡ガス&パワー富士発電所において、ガスエンジン発電設備2基(最大出力合計15,600kW)を増設しました。これにより、同発電所における発電能力はこれまでの約2倍となる最大合計32,610kWとなり、電力調達における自社発電比率の向上と、電力の安定供給、調達コストの低減化・平準化が可能となりました。

発電した電力は当社グループが提供する「SHIZGASでんき」として地域のお客さまに販売します。



増設したガスエンジン発電設備

## 節電、省エネを応援するスマホアプリ

### 『SHIZGASアプリ』 を提供開始

当社は、お客さまの節電、省エネを応援するスマートフォン向けの静岡ガスグループ公式アプリ『SHIZGASアプリ』の提供を開始しました。当アプリは、当社員サイト「Webエネリア」に会員登録いただいた方がご利用いただけます。家庭のガス・電気の使用量や料金が確認できることに加え、デマンドレスポンスサービス「SHIZGASでんき節電プログラム」を手軽にご利用いただけるようになります。

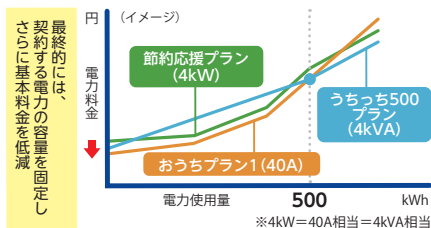


<https://www.shizuokagas.co.jp/app/main/index.html>

## 新電気料金プラン

### 『節約応援プラン』『うちっち500プラン』 の提供を開始

静岡ガス&パワー(株)は、新たに2つの電気料金プラン『節約応援プラン』『うちっち500プラン』の提供を開始しました。『節約応援プラン』は、スマートメーターで計測した年間のピーク電力に合わせて基本料金が適用される料金プランです。節電によりピーク電力が低減すればさらなる基本料金の低減が期待できます。『うちっち500プラン』は、使用量が1か月間で500kWhを超える方について電力量料金が割安になるプランです。



<https://www.shizuokagas.co.jp/electric/setsuyaku.html>

## 静岡ガス&パワー富士発電所およびエネリアショールーム富士見学会のご案内

株主の皆さまの日頃からのご支援への感謝と、当社事業に対するご理解をより深めていただくことを目的に「株主さま向け施設見学会」を開催いたします。

対象	2023年12月末時点で100株以上を保有する株主さま
見学場所	静岡ガス&パワー富士発電所 静岡県富士市蓼原1146-1 エネリアショールーム富士 静岡県富士市津田260-12
実施日時	2024年6月25日(火) 13:00~15:00(予定)
募集人数	30名程度(ご同伴者さまを含む) ※ご同伴者1名(小学生以上)を含めた2名までご参加が可能です。 ※応募の際にご同伴者さまの有無をご選択ください。
集合場所	富士市内(当選者さまにご案内します)
応募方法	同封のアンケートはがきに必要事項をご記入の上、ご応募ください。 ※2024年4月末日当社到着分まで

抽選	応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。 当選者さまへのご連絡のみとさせていただきます。 (5月頃に郵送にてご連絡予定)
参加費	無料 ※ご自宅から集合場所までの往復交通費、宿泊費等は、株主さまのご負担とさせていただきます。 ※駐車場はご用意しておりません。
その他	※当選した権利を他人に譲渡することや、金銭と交換等することはできません。 ※天候、見学施設の事情等により、やむを得ず見学会を延期・中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、見学会を延期・中止する場合には、郵送または電話にてご連絡させていただきます。見学会の延期・中止または変更により株主さまに生じる費用等については、株主さまのご負担となります。

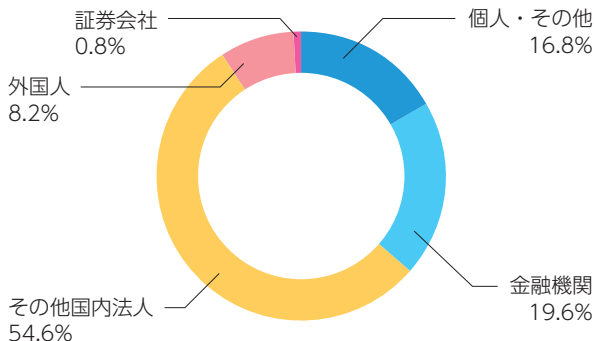
## ■ 会社概要

会 社 名	静岡ガス株式会社
設 立	1910年(明治43年)4月16日
資 本 金	6,279百万円
事 業 内 容	都市ガスの製造・供給および販売 LPGの販売 発電および電力の販売 リフォーム、ガス機器販売、ガス工事 等

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	76,192,950株
株 主 数	8,165名

## ■ 所有者別株式分布状況



※自己株式(2,013千株)を控除して計算しております。

## ■ 株主メモ

事 業 年 度	1月1日から12月31日まで	
定 時 株 主 総 会	3月	
基 準 日	定時株主総会・期末配当 中間配当	12月31日 6月30日
株 主 名 簿 管 理 人	みずほ信託銀行株式会社 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号	
郵 便 物 送 付 先	みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	
電 話 照 会 先	☎0120-288-324(フリーダイヤル)	
公 告 の 方 法	電子公告により公告します。 ( <a href="https://www.shizuokagas.co.jp">https://www.shizuokagas.co.jp</a> ) *ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
1単 元 の 株 式 数	100株	
証 券 コ ー ド	9543	

### ●住所変更、単元未満株式の買取・買増等について

株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

### ●未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店・全国各支店にてお支払いいたします。

なお、配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、当社定款の定めによりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。

### ●その他のお問い合わせ

静岡ガス株式会社 コーポレートサービス本部 総務部 総務担当  
☎054-284-4141

## アンケートのお願い

同封のアンケートはがきで、  
ご意見・ご感想をお聞かせください。



SHIZGAS

静岡ガス株式会社

静岡市駿河区八幡一丁目5番38号  
<https://www.shizuokagas.co.jp>

